

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	久万高原町	代表者名	河野 忠康		
担当者部署	まちづくり営業課	連絡先電話番号	0892-58-9002		
担当者役職	課長	担当者氏名	高木 勉	連絡先E-mail	takagi-tsumotu@kumakogen.jp
住所	791-1201 愛媛県久万高原町久万212				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	第一印象が非常にエネルギッシュで、聞く側は池田さんという人物に自然と興味が湧く。その上で、自身の経験に裏打ちされた思考法や仕事の進め方などを具体的に伝えてくれることで、若手職員だけでなく、数十年の経験を積んできた管理職にとっても、改めて今までの仕事の進め方を振り返る良い機会となる。さらにワークショップ形式でゲーム的な要素を取り入れていることで、参加者が最後まで集中しながら、楽しく聴講できるよう工夫が凝らされている。
アドバイザーへの要望事項	こうしたレベルの高い研修を、次年度以降も少しでも多くの職員に受講させたいので、多忙とは思うが優先的に来町いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年7月13日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	17時00分	480:00:00
			活動時間（分）	220	
3-2. 派遣場所	会場名	久万高原町役場	最寄駅	JRバス久万高原駅	
	所在地	愛媛県上浮穴郡久万高原町久万212	最寄駅からの交通手段	徒歩3分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	26人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXを推進する上での課題の一つとして、世代間ギャップが挙げられる。原因として、デジタルに若干の苦手意識がある管理職世代と、一定の理解とスキルのある若手職員の感覚的な違いやお互いの理解不足、さらには共通の目標に向かうための意識統一が図られる場の設定ができていないことが大きい。世代間ギャップなどの対立軸を取り除き、誰のための、何のためのDXかを共通認識として持つとともに、各世代の強みや弱みをそれぞれが理解することにより、より強固で風通しのよい体制でのDX推進を目指す。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	庁内DXを推進するため、各担当課がそれぞれの業務の課題を明確にし、事業を着実に実行できる庁内の推進体制を構築する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	チームとして共通の目的・目標を共有し、常にPDCAサイクルを回しながら、現在地を確認すること。フレームワークを使い、タスクを可視化し、チームで共有すること。「分からないこと」「できないこと」を理解し、データに基づく解決策を複数用意することで、目的・目標を達成すること。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	庁内のDXを推進する上で、ほとんどの職員は情報担当の頑張り如何に関わっているという雰囲気があったが、今回の支援を受け、それぞれの部署や担当者が課題感を持ち、その解決の手段としてDXがあることを再認識する機会となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	「課題を把握し、自ら提案できる個人の集合体(組織)となること。」「議論ができる組織となること。」について頭では理解できているが、来年度以降も引き続き研修を通じて、訓練を継続させる必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 2日間の受講者58名のうち49名(84%)から回答があった。 満足度は96%、理解度は100%、実務への役立ち度は96%といずれも他の研修では見られない高い数値となった。また次回開催を望む声も多く見られたことから、次年度開催も視野に検討を進めた	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

